



白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。



青空の白馬三山を望む

所長あいさつ



姫川砂防事務所長 湯沢秀人

安全で活力ある地域をめざして

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

姫川砂防事務所管内も白銀の静かな季節になりました。

西山の神々しい眺めに比べ、東山の崩落崖が痛々しく感じられますが、生活再建中の皆様には、一日も早く元どおりの生活にもどられますことをお祈りいたします。

昨年は、神城断層地震災害復興の年として、災害箇所対策工事を進め、危険度の高い箇所での対策は完了しました。

今年も、「安全で安心して暮らせる地域づくり」を目標に、残っている地震災害の対策工事が早期に完成するよう努めてまいります。

また、地震の際には、今まで整備してまいりました施設が効果を発揮し、多くの箇所では土砂災害を防いでいますが、老朽化したものや維持管理が十分でないものもあります。今後、これらの施設の修繕・更新にも力を入れてまいります。

地域の皆様には、土砂災害のおそれのある区域とそこにある砂防施設に関心を持っていただき、施設の維持管理に協力していただくと共に地域の警戒避難体制づくりに取り組んでいただければ幸いです。

終わりに、本年が地域の皆様にとって良き年となりますよう、また、災害の無い平穏な年となりますようお祈り申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。



白銀の世界へ



災害が無いことを祈ります



スノーリゾート信州へようこそ

長野県神城断層地震から1年 工事現場見学会を開催しました

11月18日（水）に長野県神城断層地震から1年を迎えるに当たり、姫川砂防事務所で開催している地すべり対策事業3箇所についてその進捗状況を見ていただくため、主にマスコミの方を対象に見学会を開催しました。

災害関連事業のうち、特に緊急を要する災害関連緊急地すべり対策事業の5箇所については既に3箇所が完了しています。（平成27年12月10日現在）



所長あいさつ
(遠方は市場2号)



アンカー工の施工
完了状況（市場2号）



アンカー工の削孔状況（戸石）



アンカー工の受圧版
施工状況（八方岩）

基礎調査説明会を実施しました

平成27年度、小谷村において、土砂災害防止法に基づく「地すべりの警戒区域」の指定を行うにあたり、右の日程で地元説明会を開催しました。

ご多忙の中、大勢の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

回	日 時	会 場
第1回	10月27日 18:30～	中通公民館
第2回	10月28日 13:30～	大網公民館
第3回	10月29日 18:30～	やまつばき
第4回	11月4日 18:30～	道の駅おたり
第5回	11月5日 18:30～	小谷村役場



説明会の様子

「土砂災害防止法」とは？

土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域について、危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅の新規立地の抑制など、ソフト対策を推進するために制定された法律です。

「地すべりの警戒区域」とは？

航空写真や現地調査等により、地すべりのおそれのある地形を洗い出し、その下端から、地すべり地形と同じ長さの範囲を区域指定します。

「警戒区域」では、「特別警戒区域」のような建築制限等の法的規制はかかりません。

小谷村文化祭に砂防展を出展しました

10月31日と11月1日に第58回小谷村文化祭が小谷村役場で開催され、姫川砂防事務所では砂防展を出展しました。今年は平成7年7月豪雨災害から20年、神城断層地震から1年になるので、これにちなんだパネル展とDVDの上映を行い、大勢の方に来場していただきました。

どちらも身近で起きた大災害なので、皆さん真剣にパネルや画面に見入っていました。



平成7年豪雨災害
パネル展示



神城断層地震
パネル展示



災害関連書籍閲覧



災害関連DVD
上映

平成27年度 長野県優良技術者表彰

平成27年12月18日（金）に長野市において、平成27年度長野県優良技術者表彰の表彰式が行われました。当事務所では、建設工事部門で北陽建設株式会社 原田和樹氏が「地すべり対策工事（地）清水山地区 小谷村清水山1工区」で、また、専門工事部門で北陽建設株式会社 山崎健次氏が「雪崩対策事業（雪）伊折地区 小谷村 伊折」で知事表彰を受賞しました。



○清水山地区の地すべり対策工事は、グランドアンカー工の品質を確保し、二次製品の利用等により工期の短縮を図りました。



○伊折地区の雪崩対策工事は、三角フェンス工法で施工を行いました。出来映えが揃えにくいという課題に対し、調整ワイヤーを考案して設置することにより、良好な出来映えに仕上げました。

どちらの現場についても、独自の取り組みを行うことにより高い品質の構造物を完成させました。

長野県建設部 「中信地区若手技術者研修会」を開催しました

平成27年11月13日（金）に中信地区若手技術者の研修会を姫川砂防事務所の管内で開催しました。各事務所の課長等も含め32名の参加を得て、神城断層地震による土木施設災害復旧事業の一級河川姫川、国道148号の通地区や日本三大崩壊地の稗田山の浦川スーパー暗渠工、金谷橋付近での崩壊状況、また、地すべり土塊の流出を防いだカクレ沢の砂防堰堤の効果状況をつぶさに研修しました。

若手技術者の皆さんからは真剣な質問が相次ぎ、日頃経験したことのないことや明治からの土石流災害の歴史にもふれ、有意義な1日となりました。



現場紹介 小谷村白岩の地すべり対策事業完了

小谷村白岩地区においては、平成24年度より地すべり対策事業を開始しており、今年度も横ボーリングによる水抜き工事等を実施しました。これまでの地すべり観測結果によれば、地すべり性の変状は特に認められておらず、活動は沈静化しているものと思われるため、白岩地区の事業は本年度をもって、無事完了となる予定です。



平成27年姫川砂防事務所の主な出来事

- 1～3月 神城断層地震の対応
(地元説明会、工事設計書作成、発注業務等)
- 4月 湯沢所長着任、新体制へ
震災関連で予算が例年比約1.5倍へ
- 6月 土砂災害危険箇所の合同パトロール実施
- 7月 7.11豪雨災害20年事業小谷村シンポジウム開催
- 8月 白馬大雪渓ネブカ平地地調査実施
- 9月 上半期進捗率が目標を大幅に上回り達成
- 10月 地すべり警戒区域基礎調査説明会を各地で開催
現場伐採木の無料提供実施
- 11月 地震関連工事箇所の現場見学会開催
- 12月 地震関連対策工事が概ね完了